

Innovation History

— オリンパスのDNA —

オリンパスは、1919年に顕微鏡の国産化を目指し創立しました。
それから約30年後には、世界初の実用的な胃カメラの開発に成功しました。
最初の製品を世に送り出してから今日に至るまで、
社会に向けて新しい価値を創造するというDNAは受け継がれています。

医療事業の 進化の歴史

医療製品

世界初の実用的な 胃カメラを開発

東大第一内科の医師と当社技術開発陣との共同
開発で胃カメラ実用化に成功。ファイバースコー
プの登場で胃の中を直接リアルタイムで見ること
が可能に。

外科事業への 参入

内視鏡が外科治療にも使われることを想定し、
1979年にドイツの硬性鏡メーカーを買収、外科内
視鏡分野に本格的に進出。

外科 分野

2002

統合ビデオシステム
「VISERA」、超音波手術
システム「SonoSurg」
発売

2006

内視鏡統合ビデオシステム
「VISERA Pro」発売



1975

医療用硬性
内視鏡分野に参入

消化器 内視鏡 分野



1950

世界で初めて実用的な
胃カメラを開発



1964

ファイバースコープ付き
ガストロカメラ「GTF」
発売



1966

当社初の「生検用スコー
プ」および「処置具（生検
鉗子・細胞診ブラシ）」
発売



1982

世界初の超音波内視鏡
システム「GF-UM1 /
EU-M1」誕生



1985

ビデオ内視鏡システム
「EVIS-1」誕生
（ビデオスコープ化）

科学・映像製品



1920

当社初の顕微鏡
「旭号」発売



1936

当社初のカメラ
「セミオリンパスI」発売
（カメラ事業に参入）



1963

世界初のハーフサイズ
一眼レフカメラ
「オリンパスペンF」発売



1968

当社初の工業用
ファイバースコープを
発売（工業用内視鏡分野
に参入）



2006

非破壊検査機器
「OmniScan iX」発売

創業と経営近代化への道 1919年-1950年代

- 1919 「株式会社高千穂製作所（顕微鏡の国産化を目的）」として創立
- 1921 商標を「オリンパス」として登録
- 1949 社名を「オリンパス光学工業」と改称
東京証券取引所に株式上場

光学総合メーカーへの発展、海外販売拠点の拡充 1960年代-1980年代

- 1964 欧州現地法人設立
- 1968 米国現地法人設立
- 1979 カリフォルニア州に米国拠点設立
（現 北米最大の医療修理サービス拠点）
- 1989 中国北京市に駐在事務所、シンガポールに
現地法人設立

医療事業の多角化 1990年代-2010年

- 2001 テルモ（株）と提携
- 2004 Celon AG社買収
- 2008 中国（上海）に初の
トレーニングセンター設立
英国 Gyrus Group PLC社を
買収（医療事業における
外科分野を強化）

特殊光観察で
「光を診る」時代へ

「内視鏡外科手術」の
発展

ビデオスコープで
新時代へ

先端部にCCDを組み込んだビデオスコープにより、画像をテレビモニターに表示し、複数の医療従事者が観察状況を共有可能に。

「NBI（狭帯域光観察）」の開発等、技術的な進捗が加速。内視鏡は観察だけではなく、治療や処置の役割も果たす医療機器として進化。

HD画像の外科内視鏡や、高周波と超音波を同時出力する世界初の外科手術用エネルギーデバイス、3Dや4Kの外科内視鏡等、革新的な製品を順次投入。

2011
外科用ビデオ内視鏡システム「VISERA ELITE」発売

2012
世界初のバイポーラ高周波と超音波の統合エネルギーデバイス「THUNDERBEAT」発売

2013
外科手術用3D内視鏡システム、世界初の先端湾曲3Dスコープ発売

2015
4K技術搭載の外科手術用内視鏡システム「VISERA 4K UHD」発売

2017
3DおよびIR（赤外光）観察に対応した外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II」発売

2002
世界初のハイビジョン内視鏡システム「EVIS LUCERA」発売

2002
世界初のESD専用処置具「ITknife（ITナイフ）」を商品化

2006
NBI搭載のビデオスコープシステム「EVIS EXERA II」「EVIS LUCERA SPECTRUM」発売

2012
消化器内視鏡の次世代基幹システム「EVIS EXERA III」「EVIS LUCERA ELITE」発売

2016
170度の視野角と最大110倍の光学ズーム機能が搭載された大腸ビデオスコープ発売

2016
超音波内視鏡下穿刺吸引術向けディスプレイ「EZ Shot 3 Plus」発売

2016
食道拡張用バルーン発売。日本の消化管狭窄市場に参入

2009
当社初のミラーレス一眼「OLYMPUS PEN E-P1」発売

2013
ミラーレスのフラッグシップ機「OLYMPUS OM-D E-M1」発売

2016
シリーズ最高の明るさと高画質を実現した工業用内視鏡「IPEX NX」発売

2016
生命現象を高速かつ正確に捉える共焦点レーザー走査型顕微鏡「FV3000」発売

2016
ハンドヘルド蛍光X線分析計として初の防塵・防水性能規格IP65に準拠した「VANTA」発売

経営再建ステージから持続的発展ステージへ
2011年～現在

2011 過去の損失計上の先送り発覚
2012 新経営体制が発足
中期経営計画（中期ビジョン）発表
ソニー（株）との業務・資本提携
情報通信事業を譲渡

2013 東京証券取引所による当社株式の「特設注意市場銘柄」の指定解除
海外市場での資金調達（約1,100億円）
中国（広州）に当社最大のトレーニング・サービスセンター設立

2014 バイオロジクス事業から撤退
2015 分社を統合し、マトリックス型の組織体制へ移行

2016 医療用内視鏡関連の開発・製造拠点（会津・白河・青森）を増強（新棟竣工）
中期経営計画「16CSP」発表